

リウマチ・膠原病の治療のために受診中あるいは受診経験のある
患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に対するご協力をお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター呼吸器・アレルギー内科では、上記の病気で受診された方の診療情報(カルテ情報)を使用し、東邦大学医療センター大森病院を代表機関とする多施設共同臨床研究に参加いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはありません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容(実施計画書・関連資料等)について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

リウマチ・膠原病における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)レジストリ "Rheumatology COVID-19 Registry"を利用した多施設共同観察研究

【研究の背景と目的】

新型コロナウイルス感染症(以下; COVID-19)は、2週間以内の潜伏期間を経て発熱や咳嗽を主訴に発症し、重傷な場合は肺炎に進行して死亡率は1-2%と推定されています。

肺炎の重症化のリスクとして高齢者、糖尿病、高血圧が報告されており、リウマチ・膠原病を基礎疾患に有することや免疫抑制剤による治療中の場合も COVID-19 重症化のリスクと考えられていますが、それを示すデータはこれまでに得られていません。

本研究は、リウマチ・膠原病を基礎疾患に有する患者さんで、新型コロナウイルス感染症に感染した方のカルテ情報を収集し、診療の現状・問題点を明らかにすることを目的としています。

【対象となる方】

2020年1月から2023年4月末までに新型コロナウイルス感染症に感染したリウマチ・膠原病の方です。

【使用する診療情報】

使用する診療情報は以下の通りです。

年齢、性別、喫煙歴、リウマチ膠原病の診断名・病気の状態・治療薬
新型コロナウイルス感染症の症状・治療内容・治療薬剤・治療後の状態

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院臨床研究倫理審査委員会承認日〔2020年7月15日〕から2023年4月30日まで実施され、全国で50~100名の患者さんにご協力いただく予定です。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除して使用いたします。利用する情報で個人を特定出来るものは年齢と性別のみです。また、使用したカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

収集したデータの必要情報を登録すると、即時にシステムが匿名化された研究 ID を作成・割り当てし、匿名化された情報のみが、オンライン保管されます。研究代表者の厳重な管理のもとで保管され、解析が行われます。

【結果の公表】

この研究の研究成果は日本リウマチ学会や関連学会にて発表予定で、またリウマチ・膠原病関連雑誌に投稿される予定ですが、その際には患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究代表者】

東邦大学医療センター大森病院 膠原病科 南木 敏宏 (教授)

【共同研究機関】

リウマチ・膠原病における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)レジストリ "Rheumatology COVID-19 Registry"を利用した多施設共同観察研究 参加医療機関 86 医療機関

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 呼吸器・アレルギー内科 大和田 高義 (講師)

【問い合わせ先】

埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

獨協医科大学埼玉医療センター 呼吸器・アレルギー内科 担当者：大和田 高義 (講師)

電話番号：048-965-8279 (医局直通) 9:00-17:00

以上